



## 平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月15日

上場会社名 株式会社岐阜造園 上場取引所 名  
 コード番号 1438 URL http://www.gifu-zohen.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小栗 達弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 舟橋 恵一 TEL 058-272-4120  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日 配当支払開始予定日 平成30年6月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	2,195	4.0	237	24.9	240	11.5	156	12.8
29年9月期第2四半期	2,111	—	190	—	215	—	139	—

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 139百万円 (3.5%) 29年9月期第2四半期 134百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	108.05	—
29年9月期第2四半期	101.19	—

(注) 当社は、平成28年9月期第2四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年9月期第2四半期連結累計期間の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第2四半期	3,822	2,412	63.1	1,661.97
29年9月期	3,397	2,324	68.4	1,601.08

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 2,412百万円 29年9月期 2,324百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
30年9月期	—	15.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,421	△10.2	237	8.0	250	0.1	167	△4.6	115.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	1,451,800株	29年9月期	1,451,800株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	10株	29年9月期	10株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	1,451,790株	29年9月期2Q	1,373,730株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の政策運営の動向や地政学的リスク等、海外情勢の影響による先行き不透明感は依然として残るものの、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が継続しました。

建設業界においては、民間設備投資が良好な企業収益を背景に漸増傾向にあり、公共投資についても安定的に推移しております。また、東京五輪の開催に向けた動きが本格化するなど、地合いは引き続き良好であります。一方で、建設業就業者数の減少及び高齢化は年々進行しており、労働力の確保が課題化しております。

このような状況の下で、当社グループは、継続的な収益が見込める案件を受注するとともに、営業エリアの拡大を進め、より多くの人々に癒やしとのおいを提供すべく、大型の緑化案件の受注に注力しました。また、ステークホルダーへの更なる利益還元のため、労働環境を改善し、業務をより効率化することで、事業の収益性の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,195,414千円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は237,398千円（前年同四半期比24.9%増）、経常利益は240,398千円（前年同四半期比11.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は156,872千円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

なお、当社グループは造園緑化事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて424,685千円増加し、3,822,383千円となりました。これは主に販売用不動産が44,503千円、投資有価証券が23,691千円減少したものの、現金及び預金が173,653千円、受取手形・完成工事未収入金が307,702千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて336,290千円増加し、1,409,554千円となりました。これは主に未成工事受入金が21,721千円、長期借入金が20,040千円減少したものの、支払手形・工事未払金が128,127千円、短期借入金が200,000千円、未払法人税等が46,097千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて88,394千円増加し、2,412,828千円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が17,665千円減少したものの、利益剰余金が106,060千円増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）の残高は、前連結会計年度末に比べ272,753千円増加し、1,864,155千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は48,133千円となりました。これは主に、売上債権の増加額307,702千円等の資金の減少に対して、税金等調整前四半期純利益240,398千円、仕入債務の増加額128,127千円等の資金の増加によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は96,063千円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入100,000千円等の資金の増加によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は128,556千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出20,040千円、配当金の支払額50,812千円等の資金の減少に対して、短期借入金の純増減額200,000千円の資金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,702,359	1,876,013
受取手形・完成工事未収入金	564,940	872,642
未成工事支出金	70,030	64,968
販売用不動産	44,503	—
繰延税金資産	20,249	16,315
未収還付法人税等	13,461	—
その他	26,305	58,785
貸倒引当金	△2,939	△3,640
流動資産合計	2,438,910	2,885,084
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	126,834	123,382
土地	480,954	480,954
その他(純額)	16,001	13,930
有形固定資産合計	623,790	618,268
無形固定資産	7,624	7,734
投資その他の資産		
投資有価証券	152,354	128,663
繰延税金資産	9,746	17,577
保険積立金	37,437	38,289
その他	138,672	137,603
貸倒引当金	△10,839	△10,839
投資その他の資産合計	327,372	311,295
固定資産合計	958,787	937,298
資産合計	3,397,697	3,822,383
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	300,678	428,806
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	40,080	40,080
未払法人税等	39,170	85,267
未成工事受入金	71,551	49,829
賞与引当金	25,559	18,932
完成工事補償引当金	11,015	11,430
その他	123,981	126,646
流動負債合計	812,035	1,160,993
固定負債		
長期借入金	94,720	74,680
繰延税金負債	3,551	3,847
役員退職慰労引当金	131,068	137,263
退職給付に係る負債	27,546	29,047
その他	4,341	3,723
固定負債合計	261,227	248,561
負債合計	1,073,263	1,409,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	292,167	292,167
資本剰余金	233,465	233,465
利益剰余金	1,785,761	1,891,821
自己株式	△10	△10
株主資本合計	2,311,383	2,417,444
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,050	△4,615
その他の包括利益累計額合計	13,050	△4,615
純資産合計	2,324,433	2,412,828
負債純資産合計	3,397,697	3,822,383

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	2,111,151	2,195,414
売上原価	1,557,019	1,603,839
売上総利益	554,131	591,574
販売費及び一般管理費	364,005	354,176
営業利益	190,126	237,398
営業外収益		
受取配当金	796	1,771
受取地代家賃	2,442	3,815
保険返戻金	33,562	—
その他	3,058	1,494
営業外収益合計	39,858	7,080
営業外費用		
支払利息	1,155	1,279
株式交付費	2,098	—
株式公開費用	9,119	—
不動産賃貸費用	1,927	2,623
その他	129	177
営業外費用合計	14,428	4,080
経常利益	215,556	240,398
税金等調整前四半期純利益	215,556	240,398
法人税、住民税及び事業税	88,046	79,629
法人税等調整額	△11,501	3,895
法人税等合計	76,544	83,525
四半期純利益	139,011	156,872
親会社株主に帰属する四半期純利益	139,011	156,872

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	139,011	156,872
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,520	△17,665
その他の包括利益合計	△4,520	△17,665
四半期包括利益	134,490	139,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,490	139,207



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	215,556	240,398
減価償却費	8,121	8,095
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,539	700
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,009	△6,626
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	2,513	414
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,645	6,194
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	338	1,500
受取利息及び受取配当金	△948	△1,803
保険返戻金	△33,562	—
支払利息	1,155	1,279
株式交付費	2,098	—
株式公開費用	9,119	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,455	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△359,061	△307,702
販売用不動産の増減額 (△は増加)	70,655	44,503
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	8,152	5,061
仕入債務の増減額 (△は減少)	200,256	128,127
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△49,664	△21,721
その他	1,041	△34,291
小計	71,490	64,130
利息及び配当金の受取額	948	1,803
利息の支払額	△1,155	△1,279
保険金の受取額	100,889	—
法人税等の支払額	△72,873	△16,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,301	48,133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,200	△900
定期預金の払戻による収入	300	100,000
有形固定資産の取得による支出	△14,064	△1,279
有形固定資産の売却による収入	3,590	—
無形固定資産の取得による支出	△523	△625
投資有価証券の取得による支出	△79,644	△1,479
保険積立金の積立による支出	△852	△852
保険積立金の解約による収入	75,323	—
その他	△50,810	1,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,881	96,063
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△20,040	△20,040
株式の発行による収入	460,036	—
株式公開費用の支出	△9,119	—
自己株式の取得による支出	△10	—
配当金の支払額	△30,450	△50,812
その他	△304	△591
財務活動によるキャッシュ・フロー	400,111	128,556
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	431,530	272,753
現金及び現金同等物の期首残高	1,144,152	1,591,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,575,683	1,864,155

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、造園緑化事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。